

令和5年度
一般財団法人松本市芸術文化振興財団
事業概要書

(令和5年4月1日～令和6年3月31日)

第1 財団運営の基本方針

1 所管業務

令和5年度は、引き続き松本市から指定管理者の指定を受けて、美術館施設2館、文化芸術施設3館の管理運営を行います。

施設ごとに運営目標を定め、市民の文化芸術にふれる機会や活動の場の提供により、文化芸術活動の推進に努めます。また、自主事業については、各施設の強みを生かした事業を実施するとともに、地元ゆかりのある出演者による公演や、芸術性の高い作品から娯楽性のある作品の公演等を幅広く行うことで、市民に親しまれる館運営を目指します。

また、国が令和2年5月に文化観光推進法を策定したことから、文化や芸術を地域の活性化や観光振興につなげていくという視点を持ちながら施設の運営を進めます。

施設区分	施設名	開館時期	指定管理の区分		
美術館	松本市美術館	平成14年4月	期間：R4/4/1～ 5年間	特命指定 (非公募)	委託料方式
	松本市梓川アカデミア館	平成3年1月	期間：R4/4/1～ 5年間		
文化芸術施設	松本市音楽文化ホール	昭和60年10月	期間：R5/4/1～ 5年間	特命指定 (非公募)	委託料と利用 料金制の併用
	まつもと市民芸術館	平成16年8月			
	松本市波田文化センター	平成7年4月			

2 財団の組織強化

(1) 経営の健全化

会計・税務事務を適正に執り行うため、引き続き税理士などの専門家から支援を受けるとともに、職員のコンプライアンス意識の高揚とコスト意識向上を図るため、各種研修を実施します。

事業の実施にあたっては、事業収入の向上や補助金等の活用により事業の拡充を図り、健全な運営を目指します。

(2) 財団改革

「財団改革の基本方針」（平成18年3月策定）並びに松本市の「外郭団体等への市の関与のあり方の基本方針」に基づく経営計画に沿い、財団の機能強化を図ります。

また、職員への人事評価、定期昇給及び退職金の導入による働き方改革や、各種労働関係法に適切に対応するため、社会保険労務士のアドバイスを受けると共に、適正な人材配置や効率的な業務プロセスの構築など、機動的な組織整備を実現していきます。

(3) 連携強化

令和5年度から、文化芸術施設3館を一括での指定管理受託を受け、今まで以上に館の連携を深めてまいります。

また、施設間のみならず、様々な分野で活動している団体や企業、文化施設との連携を深め、文化事業の充実を図る事業を展開するなど、新たな鑑賞者層の拡大に努めます。

3 職員体制

令和5年4月1日予定

単位：人

区分		部長級職名	人数	課長級職名	人数	係長級職名	人数	職名等	人数	計
事務局	市職	局長	1	次長兼会計課長	1	次長補佐兼会計係長	1			3
	財団							一般事務	2	2
	計		1		1		1		2	5
美術館	市職			副館長	1	副館長補佐	1	主事	1	3
	財団							一般事務	1	2
								ショップ店長	1	
計					1		1		3	5
梓川アカデミア館	市職			館長 (美術館副館長兼務)	(1)	館長補佐 (美術館副館長補佐兼務)	(1)	主事 (美術館主事兼務)	(1)	
	財団							一般事務	1	2
								学芸員	1	
計									2	2
音楽文化ホール	財団	館長	1	館長補佐	1	係長	1	一般事務	5	9
								企画制作	1	
計			1		1		1		6	9
市民芸術館	市職			事務長兼支配人	1	係長	1			2
	財団					プロデューサー	1	一般事務	5	18
						舞台技術部長	1	企画制作	5	
								舞台技術	6	
計					1		3		16	20
波田文化センター	市職			館長 (芸術館支配人兼務)	(1)					
	財団					係長 (企画制作事務)	1	一般事務	1	3
								舞台技術	1	
計							1		2	3
合計	市職		1		3		4		0	8
	財団		1		1		4		30	36
	計		2		4		8		30	44

第2 各施設の事業計画

1 松本市美術館

活動方針

1 基本目標

- (1) 松本市美術館が公立の施設であることを十分認識し、利用者サービスの向上及び施設の適切な維持管理に取り組みます。
- (2) 美術館が目指す「四つの場」〈鑑賞・表現・学習・交流の場〉を踏まえた施設の管理運営を行い、美術館が生涯学習の拠点として市民に親しまれ、生きがいと潤いのある市民文化の醸成が図られることを目指します。
 - 《鑑賞の場》 美術資料の鑑賞に適した展示環境を創出し、地域や世界の優れた美術作品を身近に鑑賞できる機会の充実
 - 《表現の場》 市民の芸術活動の発表や展示ができる表現の場の提供を通して、未来への発展を展望する美術遺産の創成
 - 《学習の場》 生涯学習を推進する学習拠点として、各種学習機会を市民に提供し、未来の芸術文化の担い手となる人材の育成を図り芸術文化に親しむ環境づくり
 - 《交流の場》 美術館活動を通じて地域に開かれた身近で親しみやすい交流の場、ふれあいの機会の充実

2 令和5年度の重点的な取組み

- (1) 来館者サービス・施設管理業務
 - 来館者に対するホスピタリティの高い案内・対応を心がけ、あらゆる世代が「また来たい」「また利用したい」と思っただけの施設運営に努めます。
 - ア 受付・監視業務：受付・案内、常設展示室の監視
 - イ 貸館業務：市民ギャラリー、多目的ホール、講座室、アトリエ、版画室、子供創作館
ほか施設の使用受付・許可・貸出と円滑な利用に向けた案内の実施
 - ウ 管理業務：設備管理・保守点検、清掃、警備業務
 - エ 情報提供・広報業務
 - オ 来館者サービスの充実
- (2) ミュージアムショップ運営業務
 - 常設・企画展示室に続く第3の展示室と位置づけ、お客様に「夢をお持ち帰りいただく空間」を目指した企画運営を行います。
 - ア 心地よい空間づくり
 - イ 展覧会、イベント等に連動した企画・販売
 - ウ 所蔵品・所蔵作家や、地域をテーマとした企画・販売
 - エ 美術関連書籍の販売
- (3) 環境整備
 - 施設の適正な維持保全を通じて、利用者、観覧者の満足に結びつく環境づくりに努めるとともに、災害時の避難誘導體制等の強化にも努めてまいります。

3 利用促進対策

- (1) 施設管理業務等に関しては、来館者アンケート等利用者の意見を参考に運営の改善を図り、リピート利用の促進に努めます。
- (2) 美術館ホームページについて、運用を担う指定管理者の立場から、より効果的な広報に結びつくよう協力してまいります。

4 市主催事業との連携強化

草間彌生作品の特別拡大展示や企画展を中心とした市主催事業の広報や運営に、積極的に協力してまいります。

事業内容 (市直轄事業) 《参考》

区分 番号	事業名称等	開催時期	支出見込 (千円)	収入見込 (千円)	
	事業内容	入場見込(人)		事業収入	市委託料又は補助金
1 企画展示		81,000			
目的	令和5年度の企画展開催にあたり、広報や運営のサポートを中心に積極的な事業協力を行います。				
1	アーツ・アンド・クラフツ展	4月15日～6月4日			
	壁紙、家具等各分野の様々な作家の作品を展示	18,000			
2	山崎 貴展	7月15日～10月29日			
	松本市出身である山崎貴監督の、映像の世界を紹介	50,000			
3	須藤 康花展	12月9日～3月24日			
	画家・須藤康花の作品を展示	13,000			
2 常設展示		67,000			
目的	草間彌生作品の拡充展示を継続してPRするほか、上條信山・田村一男記念展示室、池上百竹亭コレクションの展示などについても、積極的にPRを行います。				
1	草間彌生 魂のおきどころ	4月1日～令和6年3月下旬			
	常設展示室全スペース利用し草間彌生作品を展示	67,000			
2	上條信山・田村一男記念展示室、池上百竹亭コレクション	4月1日～令和6年3月下旬			
	年4回展示替えを行い、多様なテーマで収蔵品を紹介	(上記67,000に含む)			
合計		148,000			

2 松本市梓川アカデミア館

活 動 方 針

1 基本目標

- (1) 松本市梓川アカデミア館が市立の施設であることを十分認識し、法令を遵守するとともに、利用者サービスの向上に取り組みます。
- (2) 梓川地区の歴史と文化遺産を今に伝える資料展示のほか、松本市西部地区の文化・生涯学芸術を通じた生涯学習の拠点として市民に親しまれ、生きがいや潤いのある市民文化の醸成が図られることを目指します。

2 令和5年度の重点的な取組み

- (1) 事業に関する業務
 - ア 美術品及び民俗資料、歴史資料の収集及び展示、展覧会に関する業務
 - イ 資料の保管・貸出に関する業務
- (2) 施設の運営に係る業務
 - ア 観覧料及び使用料の徴収業務
 - イ 施設の観覧及び利用の受付、許可及び取り消し、貸出業務
 - ウ その他 接客・応対業務、広報・PR業務など
- (3) 施設の管理に関する業務
 - ア 警備・清掃業務
 - イ 施設、設備、備品の保守及び維持管理
- (4) 教育普及に関する業務
 - ア ワークショップ開催に関する業務
 - イ その他 各種講座開催に関する業務

3 利用促進対策

- (1) 貸室の利用促進に向け松本市美術館との連携を図り、ギャラリー利用希望者に対しアカデミア館を含めた選択肢を提供していきます。
- (2) 1階アクセスギャラリーを「みんなのアトリエ」として一般開放し、新規ギャラリー利用者につながるきっかけとなるように働きかけます。
- (3) 小学校での「昔の暮らし」社会科見学の受入れを積極的におこない、地域のボランティア（コンシェルジュ）と、子どもたちとの世代間交流を促進していきます。
- (4) 子どもから高齢者まで幅広い年齢層を対象としたワークショップ実施し、美術への関心を高めてもらうとともに、中学・高校生の職場体験等を積極的に受け入れ、館への関心を深めるよう努めます。
- (5) 多くの来場者・参加者にお越しいただけるよう、各種メディアやSNSを通じて積極的に広報活動を行います。また、梓川アカデミア館だより「みんなで梓川アカデミア館へ行こう」を発行し、催事予定、ギャラリーなどの利用案内等を広報していきます。

事業内容

区分 番号	事業名称等 事業内容	開催時期 入場見込(人)	支出見込 (千円)		収入見込(千円)	
			事業収入	市委託料又は補助金	事業収入	市委託料又は補助金
1	常設展示	2,000	20			
目的	梓川の歴史や文化遺産、昔の生活を紹介する歴史・民俗資料及び地域にゆかりのある芸術家の作品を紹介します。					
1	常設展示	通年				
	郷土の歴史を伝える歴史資料、民族資料のほか、梓川出身の写真家中沢義直氏の山岳写真、クラシックカメラコレクションの展示。	1,000	4			
2	コレクション展①信州梓川賞受賞作品展～水の流れ、空の色～	4月29日～7月2日				
新	これまで22回にわたり開催されてきた信州梓川賞展の梓川賞受賞作を展示。梓川を様々な視点から切り取った優れた作品の数々を紹介します。	500	8			
3	コレクション展②	8月19日～10月27日				
新	アカデミア館所蔵作品を任意のテーマで選出し、展示。	500	8			
2	企画展示	2,000	97			
目的	地元ゆかりの作家の企画展及び松本市や長野県内で活躍する画家等を紹介する企画展を開催します。					
1	押し花アート展 vol.1.9	6月中旬				
継	松本市で「花いっぱい運動」が継続していることをふまえ、自然をアートの視点から楽しめる展覧会を開催。協力は中信押し花の会。	100	30			
2	那須弘司 絵画作品展	9月16日～10月15日				
新	人間の内面性を油彩で描く画家、那須弘司氏の個展を開催。	400	67			
3	第23回信州梓川賞展(松本市委託事業)	令和5年2月4日～3月5日				
継	梓川流域の風景・文化・行事を描いた絵画等の公募展	1,500				
3	教育普及(ワークショップ等)	90	183			
目的	松本市やその周辺地域の伝統文化である七夕人形作り講座や布ぞうり講座など、芸術振興を目的とした各種の教育普及事業を展開していきます。					
1	アーティストによるワークショップ	5月初旬				
新	地域で活動するアーティストによるワークショップを開催	20	45			
2	七夕人形作り講座	7月2日				
継	松本の伝統文化である七夕人形の普及、伝承	30	20			
3	布ぞうりつくり講座	7月下旬				
継	松川村研究会ぞうり部のみなさんによる布ぞうり作り講座	15	33			
4	ワークショップ 身体で書く書道	8月11日				
新	蟻ヶ崎高校書道部顧問の大澤逸山先生による書のワークショップ	20	35			
5	ワークショップ パレットの上で生まれる絵画	9月下旬				
新	企画展作家、那須弘司氏による絵画制作ワークショップ	10	0			
6	押し花体験ワークショップ	6月15日～18日				
新	押し花アート展の会期中、会場内に体験コーナーを設置し、講師の指導の下押し花体験を行う。	10	0			
7	ポタニカルキャンドルワークショップ	12月9日				
新	ドライフラワーなどを用いて、冬の生活を華やかに彩るキャンドルを制作	10	50			
8	梓川賞展関連ワークショップ	令和6年2月				
継	梓川賞展審査員を講師に迎えたワークショップを開催	15				
4	コンサート	80	50			
目的	アカデミア館のギャラリーを活用したコンサートを開催します。					
1	ウィンターコンサート	12月16日				
新	松本市出身または活動拠点が松本市(近隣)の演奏家を招いたコンサートを開催	80	50			
5	施設利用(ギャラリー利用者も含む)	20,000	0			
合計	11事業	24,170	350			

3 松本市音楽文化ホール

活 動 方 針

1 基本目標

市民の音楽文化の振興と福祉の増進を図ることを目的に設置された施設として、また音楽文化に係る創作、研究、練習、発表及び鑑賞等のための専門性の高い施設として、次の項目を基本目標に掲げ管理・運営を行います。

- (1) 音楽専門ホールとして、国内外の「今聴きたい」音楽家を招き、首都圏まで行かなくても最高水準の音楽を聴ける環境を提供します。
- (2) 松本市および長野県出身・在住のプロ演奏家の活動を支援する共催公演、高校生を含むアマチュアのためのセミナー、クリニックを開催、市民の音楽文化の向上を図ります。
- (3) 県内唯一のコンサート用オルガン及びホール所有のチェンバロを活用した演奏会や講習会を開催、アウトリーチも積極的に展開します。
- (4) 地域に密着した施設として、音楽愛好団体等への活動支援や育成援助を行います。

2 令和5年度の重点的な取組み

- (1) 若手からベテランまで、国内外で活躍するアーティストを迎え、クラシックだけでなくポピュラー、ジャズも加えた多彩なプログラムを楽しんでいただける公演を企画し、市民が気軽にコンサートに足を運べるよう努めます。
- (2) OMFを含む松本ゆかりの音楽家や地元の音楽団体とのネットワークを深め、松本が培ってきた音楽文化の蓄積を生かし、さらに発展させていきます。
- (3) 県内唯一のコンサート用オルガン、ポジティブオルガン、チェンバロを活用して、演奏会や市民のための講習会の充実を図ります。また、ポジティブオルガンによるアウトリーチを継続すると共に、子育て世代が参加しやすい親子向けのオルガンコンサートも8月に企画します。

3 利用促進対策

- (1) 利用者懇談会における音楽愛好団体等の意見を参考に、より利用しやすい施設となるよう常に改善を図ります。
- (2) 利用者団体の利便性に配慮して、主催事業やそれに伴うリハーサルを貸館の需要が多い時期を可能な限り避けるよう努めます。
- (3) ホール友の会による情報誌「ハーモニー」、SNS（facebook、Twitter）を積極的に利用促進対策に活用し利用料金の増収につなげるほか、ホール公式ホームページをより充実させます。

事業内容

1 自主事業

区分 番号	事業名称等	開催時期	支出見込 (千円)		収入見込 (千円)	
	演奏会内容	入場見込(人)		事業収入	市委託料又は補助金	
1 招聘事業		2,850	15,594	12,200	3,394	
目的	優れた音響を誇る音楽専門ホールにふさわしく、海外からの招聘アーティストも含む質の高い公演を楽しんでいただくことを目的とします。今年度は、クラシックはもちろん、ジャズやポピュラーなど、多彩なプログラムでより幅広い層に発信します。					
1 新	服部百音 ヴァイオリン・リサイタル 「真田丸紀行」などテレビ番組でもお馴染みの若手トップ奏者、松本で初のソロ・リサイタル	7月2日(日)	600	2,365	2,200	165
2 新	クワチュール・バー 気鋭のサクソフォンアンサンブル。ポピュラープログラムも交えてサクソフォンの魅力を幅広く。	9月16日(土)	550	1,135	2,000	△ 865
3 新	小曽根真&アヴィシヤイ・コーエン ジャズ・ナイト 故 チック・コリアに捧げる、ピアノとベースによるアコースティック・ジャズ・ライブ。	10月6日(金)	600	5,681	3,500	2,181
4 新	セプトウーラ 英国の伝統的ブラス・アンサンブルの7人編成。金管楽器だけとは思えない柔らかい音色がホールを満たします。	11月22日(水)	550	5,151	2,500	2,651
5 新	広瀬悦子 ピアノ・リサイタル 才能教育出身のベテランピアニスト。クラシックの名曲をピアノ独奏で。	12月22日(金)	550	1,262	2,000	△ 738
2 自主企画事業		2,710	15,661	6,850	8,811	
(1) 特別自主企画事業		910	11,403	5,400	6,003	
目的	県内唯一のコンサート用オルガンを生かしたりリサイタルの他、松本市内出身演奏家の所属団体によるオリジナル公演など、「ここでしかできない」公演を目指します。					
1 新	おかえりオルガン ～おでかけオルガン 夏休みスペシャル～ 親子で楽しめるミニコンサートをオルガンで。「おでかけオルガン」で活躍中のポジティブオルガンも登場。	8月11日(金)	260	393	80	313
2 新	今井奈緒子 オルガンリサイタル 国内トップのオルガニストが再び松本へ。オルガン設置30周年記念作品の作曲者・坂本日菜による新作も予定。	11月4日(土)	480	1,658	1,320	338
3 新	山形交響楽団 松本公演 創団50周年を迎えてさらに勢いに乗る東北のプロオーケストラ。指揮はOMPでもお馴染み、ラデク・バボラーク。	12月9日(土)	650	9,352	4,000	5,352

区分 番号	事業名称等		開催時期	支出見込 (千円)	収入見込 (千円)	
	演奏会内容				入場見込(人)	事業収入
(2) 経常自主企画事業			1,800	4,258	1,450	2,808
目的	ゆかりの深い演奏家、地元の音楽団体とのネットワークを深めると共に、オルガンなどホール保有の楽器を活用して、幅広い層に向けた公演を企画します。					
1 継	第44回新人演奏会		4月16日(日)			
	長野県ゆかりの音楽大学等の令和5年春卒業・修了者によるコンサート		450	672	200	472
2 新	チェンバロ&オーボエ ジョイント・リサイタル		5月28日(日)			
	チェンバロ講習会の講師も務める栗形重樹子による毎年恒例のリサイタル。今年はデュオで。		300	875	700	175
3 継	夜オルガン Vol. 14 三上郁代		7月28日(金)			
	人気のオルガン・ワンコインコンサート。アレンジ作品も含めた多彩な楽曲をオルガン・ソロで。		350	488	150	338
4 継	ザ・ハーモニー・フェスティバル		3月3日(日)			
	市民からの公募による合唱フェスティバル		350	1,581	400	1,181
5 継	おでかけオルガン		5回			
	ポジティブオルガンを使ったアウトリーチ。		350	642	0	642
区分 番号	事業名称等		開催時期	支出見込 (千円)	収入見込 (千円)	
	演奏会内容				入場見込(人)	事業収入
3 共催事業			14,200	0	0	0
目的	松本をベースに活動する芸術団体等との共催事業。主催事業の幅を広げ、ホールのもつネットワークを強化します。					
1 継	第36回島内灯籠まつり		8月6日(日)			
	地元町会恒例の夏祭り		12,000			
2 継	OMF ふれあいコンサート 3公演		8月19日(土)、8月26日(土)、8月29日(火)			
	セイジ・オザワ 松本フェスティバル 室内楽公演		1,800			
3 新	北村朋幹 ピアノ・リサイタル		2月17日(土)			
	ホール友の会「ハーモニーメイト」の運営による、会員が「今、聴きたい」アーティストのコンサート。		500			
4 継	第38回ニューイヤー松本ボーカルフェスティバル		3月24日(日)			
	地元ゆかりのボーカリスト共演コンサート		400			

区分 番号	事業名称等	開催時期	支出見込 (千円)	収入見込 (千円)	
	演奏会内容	入場見込(人)		事業収入	市委託料又は補助金
4	セミナー事業	246	2,665	950	1,715
目的	ホール所有のオルガン、チェンバロを生かした講習会を開催します。また、優れた演奏家による高校生等を対象としたクリニックの開催を通じて音楽技術の向上を図るほか、コンサート招聘アーティストによるミニレッスン、マスタークラスの開催も再開します。				
1	第22期チェンバロ講習会	5回			
継	講師＝栗形亜樹子（バイエル修了者対象）	14	736	140	596
2	初めてオルガン	6回×2			
継	講師＝小林淳子（一般市民対象）	12	0	240	△ 240
3	オルガンレッスン（基礎・発展）	通年			
継	講師＝小林淳子、山田由希子	120	845	500	345
4	オーボエ・クリニック	5月27日（土）			
新	講師＝吉村結実（初心者/中級者向け）	10	110	10	100
5	ヴァイオリン・マスタークラス（公開）	7月1日（土）			
新	講師＝服部百音（経験者向け）	50	264	60	204
6	管楽器&指揮法クリニック	調整中			
継	講師＝洗足学園講師陣（高校生対象）	100	710	0	710
5	その他	0	6,080	0	6,080
1	事業共通費	通年			
			6,080	0	6,080
合計	22事業	20,006	40,000	20,000	20,000

2 貸館事業

目標	利用料金収入	16,360千円
----	--------	----------

- (1) 施設全体を良好な状態に保ち、利用される皆様に気持ちよくご利用いただくために、相手の立場に立った親切な対応を心がけます。
- (2) 施設利用者及び鑑賞者等を含めた利用者数については、令和4年度に引き続きコロナの影響からの回復期と捉え、以前の利用同等に戻るよう努力します。（目標100,000人）

3 音楽文化活動支援事業

(1) 音楽団体の活動支援

ア 登録団体制度に基づいて使用料を一部減免し、地域における音楽団体の活動を支援します。

イ 音楽団体等の演奏会情報等を広く周知するため、ホール情報誌「ハーモニー」（ハーモニーメイト編集・発行）に掲載します。

(2) ハーモニーメイトの育成援助

団体の自主性を尊重し、事業に協力するとともに育成・援助をします。

(3) 音楽関係相談業務

各種演奏会開催に係る、出演者、コンサート企画等についての相談業務を行います。

(4) 演奏ボランティア

お出かけオルガン以外にも、オルガニストによる演奏ボランティアを行います。

4 まつもと市民芸術館

活 動 方 針

1 基本目標

- (1) 世界的にも高い水準の芸術文化を創造・鑑賞する場とします。
- (2) 市民の芸術文化創造とその支援及び発表の場とします。
- (3) 市民が親しみやすく、新しいまち全体の賑わいと文化の潤いが生れる場とします。
- (4) これらを通じて、市民が交流する場とします。

2 令和5年度の重点的な取組み

- (1) 芸術監督（総監督）不在期間中も、従来のクリエイション、発信力等のクオリティを維持するよう努めます。
- (2) これまでも主ホール、小ホールだけでなく、芸術館内の空間を様々に劇場として使用して来ましたが、さらに芸術館内の空間やオープンスペースの新しい使い方を模索し、市民に親まれる劇場を目指します。
- (3) 市民が芸術に触れ、また積極的に参加できる作品を提供します。特に次世代を担う子ども向けの企画を充実させます。
- (4) 芸術性の高い作品から娯楽性のある作品まで、幅広いジャンルの公演を提供します。
また、引き続きレクチャーやワークショップの開催のほか、広報誌等情報発信の充実、リニューアルを図ります。
- (5) 事業の実施に当たっては、各種の補助金、助成金の取り込みに務めるほか、県内外の施設と連携しつつ、効率的な運営を目指します。

3 利用促進対策

- (1) アンケート調査等に基づいて、要望を把握し公演ラインナップの参考とします。
- (2) 来館者に好評を得ているインフォメーションコーナーのフリーペーパースペースには、自主事業（公演）に関する書籍・資料等のほか、文化芸術に関する資料なども展示し、気軽に来館を促す取り組みを進めます。
- (3) 今後、松本市が施設の改修をすすめる際は、利用者目線の立場で意見を提言してまいります。
- (4) チケットクラブ会員を対象とした自主事業（公演）のチケット先行販売などの販売促進対策を進めることとします。
- (5) 中学・高校の職場体験やインターンシップを積極的に受け入れることにより、若者の芸術館への理解度を深めるよう努めます。

事業内容

1 自主事業

区分 番号	事業名称等		ジャンル	開催時期	支出見込	収入見込(千円)	
	公演内容			入場見込(人)	(千円)	事業収入	市補助金
(1) 創造・発信型事業				5,250	88,770	49,270	39,500
目的	松本初登場のクリエイターを多く起用し、市民協働から、濃密なストレートプレイまで新しい作品作りを目指します。						
1 継	屋外劇『テンペスト』		演劇	7月中旬			
	屋上庭園を舞台に、市民も巻き込んだスペクタクル作品			450	31,300	20,270	11,030
2 継	『ハイ・ライフ』		演劇	11月			
	リー・マクドゥーガル作、社会からドロップアウトした4人の男性の物語			4,000	40,000	25,000	15,000
3 新	古典のメッカ		伝統芸能	11月、2月予定			
	古典を現代の視点で見直すシリーズ。コーディネーター木ノ下裕一。能と文楽を取り上げる。バリアフリーにも重点を置く。			800	17,470	4,000	13,470
(2) 鑑賞・招聘型事業				10,930	48,420	22,220	26,200
目的	施設の各舞台空間を十分に活用するジャンルを考慮し、演劇・伝統芸能、ダンス等、様々なジャンルの作品を幅広い年齢層に向けて提供します。夏休みには子供向け企画を充実させます。						
1 新	『サンソン』		演劇	5月			
	白井晃演出、死刑執行人の一族の物語			1,500	0	300	△ 300
2 新	エヴァンゲリオンビヨンド		演劇	6月			
	新宿ミラノ座こけら落とし、シディ・ラルビ・シェルカウイ演出新作公演			2,000	0	300	△ 300
3 新	『アート』		演劇	7月			
	ヤスミナ・レザの傑作戯曲を小川絵梨子が演出			1,400	0	200	△ 200
4 新	『アニー』		ミュージカル	8月			
	子供向け名作ミュージカル			1,400	0	50	△ 50
5 新	『最後のひとつ前』		演劇	8月			
	松井周演出、白石加代子主演の子供向け作品			240	4,520	520	4,000
6 新	『くるみ割り人形』		演劇	8月			
	根本宗子演出の新しいくるみ割り人形			240	5,920	590	5,330
7 新	劇団チョコレートケーキ新作		演劇	8月			
	注目の社会派劇団の新作			150	4,220	540	3,680

区分 番号	事業名称等	ジャンル	開催時期	支出見込		収入見込(千円)	
	公演内容		入場見込(人)	(千円)	事業収入	市補助金	
8	『エブリブリリアントシング』	演劇	10月				
新	松本でも好評を博した参加型演劇の再演			600	5,350	2,200	3,150
9	歌舞伎公演	伝統芸能	11月				
新	襲名披露公演			800	0	200	△ 200
10	ダンディズム・バンケット	音楽	1月				
新	古澤巖、山本耕史のコンサート			800	6,350	4,200	2,150
11	ノクターン	ダンス	1月				
新	Co. 山田うん新作ダンス公演			200	4,610	520	4,090
12	NHK交響楽団	音楽	2月				
新	オーケストラコンサート			1,000	0	100	△ 100
13	二兎社『パートタイマー・秋子』	ミュージカル	2月				
新	永井愛作・演出、沢口靖子主演作品			600	17,450	12,500	4,950
(3) 教育普及・育成・市民参加型事業				8,130	26,310	10,410	15,900
目的	コロナ禍で喪失した舞台芸術の鑑賞機会を市民に提供するとともに表現の場も提供します。更に、セイジ・オザワ松本フェスティバル実行委員会との共催により、「子どものためのオペラ」を開催するとともに、フェスティバル成功に向け、人的・物的な支援・協力を行います。						
1	自分史を書く戯曲講座	演劇	上半期				
新	シニアに自分史を戯曲にしてもらい、朗読劇として上演			110	1,510	100	1,410
2	高校演劇講習会	演劇	6,1月				
継	高校演劇連盟の作品作りを総合的にサポート			100	220	220	0
3	OMF子どものためのオペラ(共催)	音楽	9月				
継	学生のオペラ鑑賞の第一歩として			4,000	0	10	△ 10
4	松本演劇祭(共催)	演劇	9月				
継	伝統ある松本演劇祭をサポート			150	0	10	△ 10
5	高校演劇中信地区大会	演劇	9月				
継	高校演劇部の発表会をサポート			300	0	0	0
6	栗山民也WS	その他	9月				
新	市民向け演劇WS			20	380	30	350
7	新博物館オープニングイベント	演劇	10月				
新	博物館のオープニングイベントをサポート			400	2,000	1,000	1,000
8	『ローリーの怪奇骨董お話箱』	その他	未定				
継	音楽と朗読の子供向け作品			600	2,000	800	1,200

区分 番号	事業名称等		ジャンル	開催時期 入場見込(人)	支出見込 (千円)	収入見込(千円)		
	公演内容					事業収入	市補助金	
9	レクチャープログラム		その他	通年				
	継	作品をより深く知るための事前レクチャー						250
10	市民オペラ(共催)		オペラ	通年				
	継	初のオリジナル作品『海と山猫』の再演						800
11	山本卓卓ワークショップ		その他	下半期				
	新	中高生をターゲットにした表現ワークショップ						100
12	ダンスワークショップ		その他	下半期				
	新	様々な年齢層に応じたワークショップ						120
13	バックステージツアー		その他	3月下旬予定				
	継	普段は立ち入ることのできないゾーンの体験ツアー						180
14	シアターパーク企画		その他	通年				
	継	シアターパークを使用した様々な企画						1,000
(4) 観光・地域活性化協働事業					17,000	30,000	0	30,000
目的	街の賑わい創出							
1	まつもと街なか大道芸&ジャズ・フェスティバル		その他	—				
	継							17,000
2	信州まつもと大歌舞伎(本番以外)		伝統芸能	—				
	継							
(5) アウトリーチ事業					200	1,000	0	1,000
目的	市民の舞台芸術に対する関心を高めるため、館にとどまらず演劇公演などを各地域に届け、文化をより身近なものとして親しんでもらう動機付けとします。							
1	アウトリーチ公演		演劇	通年				
	継	市内外の施設へ出向いて公演						200
(6) 学芸事業等					0	12,400	25,000	△ 12,600
目的	実際に劇場で鑑賞の機会のない市民や全国へもまつもと市民芸術館の活動を広めます。また、単なる劇場の広報誌を超えたクオリティを目指します。							
1	学芸費		その他	通年				
	継	共通広報費等						
2	事業共通費(収入)		その他	通年				
	継	貸館事業収入(事業費へ充当)						
合計					41,510	206,900	106,900	100,000

2 貸館事業

目標	利用料金収入	3,000万円
----	--------	---------

- (1) 利用者の興行、催事が成功するよう専門的な立場から支援します。
- (2) 一般利用の開館時間は、午前8時30分から午後10時ですが、利用計画により柔軟に対応します。また、休館日も利用の少ない日に設定するなど利用者の要望に応えます。
- (3) 松本観光コンベンション協会など関連団体と連携し、学会やイベント事業等の利用も推進します。

3 協働推進事業

ホールボランティアを芸術館のパートナーと位置付け、来館者サービスの向上を図るため、職員とともに育成事業を実施します。

- (1) 劇場フロントスタッフのための技術習得や接遇等の各種研修、先進施設への視察の実施
- (2) 防災訓練等の共同実施

4 その他

公演に支障が出ないよう、市と連携して適切な施設の維持管理に努めます。

5 松本市波田文化センター

活 動 方 針

1 基本目標

- (1) 小ホールながら多目的な利用を図れる特徴を活かした幅広い利用を図ります。
- (2) 自主事業においては、西部地域の学校や団体との関わりを大切に、鑑賞の場だけでなく、アウトリーチ事業などを引き続き積極的に行っていきます。
- (3) 貸館にあたっては、地域に密着した施設として音楽愛好家団体等の活動の援助する一方で、広く利用いただけるように努めます。

2 令和5年度の重点的な取組み

- (1) 松本市の西部地域の文化の拠点として、地元の団体、保育園、学校等と連携していく中でワークショップやアウトリーチを行い、身近に芸術と触れ楽しんでもらい、創造する楽しさを実感できる機会を提供します。
- (2) 「はた映画上映会」はリピーターのお客さまが多くを占めており、恒例の事業として定着しています。幅広い層にも響くような作品を取りあげることで誰もが広く文化芸術を享受できるよう取り組んでいきます。
- (3) 自主事業の新たな取り組みとして市民参加型の合唱の企画を実施します。唱歌や合唱曲を中心に音楽を身近に楽しんでいただきながら、日々の生活の中に豊かな時間を育めるように進めていきます。

3 利用促進対策

- (1) 利用者の立場に立って、専門的技術支援を行うなどして、充実した催事となるよう支援し次回の利用につなげます。
- (2) アンケート結果を参考するなど、利用者の要望に柔軟に対応してまいります。
- (3) コロナの感染状況を注視し臨機応変な対応を心掛けるとともに、戻りつつある文化活動等にもご利用いただけるよう広報にも努めます。

事業内容

1 自主事業

区分 番号	事業名称等	開催時期	支出見込 (千円)		収入見込 (千円)	
	公演内容	入場見込(人)	事業収入	市委託料又は補助金		
1 鑑賞型事業		1018	2,290	828	1,462	
目的	幅広い年齢層にお越しいただけるように、音楽、舞台、映画と多様なジャンルのプログラムに配慮します。地域の方々を中心に足を運んでいただき舞台鑑賞を楽しんでいただけるように努めます。					
1	「あっちこっちサバンナ」	8月上旬 ※R4から延期分				
継	(幼児～小学生向けの大型人形劇)	208	880	248	632	
2	「はた映画上映会」	年間5回予定				
継	(上質な映画を楽しんでいただける映画上映)	600	1,150	370	780	
3	オトノイロVol.12	未定				
継	(音響を生かしたコンサート)	210	260	210	50	
2 市民参加型事業		300人 46組	550	212	338	
目的	良質のピアノ（ベーゼンドルファー）の活用として、一般の方に弾いてもらえる機会を2つの形で用意します。また、新しい企画として音楽的な要素を入れつつ、唱歌や合唱曲を気軽に楽しんでいただく参加型の催しを行います。					
1	合唱を楽しむ参加型イベント（未題）	通年6回				
新	(合唱曲を楽しむ参加型企画)	300	370	150	220	
2	「第24回ピアノカーニバル」	9月				
継	(ベーゼンドルファーの市民コンサート)	26組	150	52	98	
3	「来て、観て、笑って、弾いてみて、ベーゼンドルファー」	2月				
継	(ベーゼンドルファーの自由演奏)	20組	30	10	20	
4 ワークショップ、アウトリーチ事業		30	30	0	30	
1	子ども向けのWSまたはアウトリーチ	未定				
	(気軽に舞台芸術に触れていただける催事)	30	30	0	30	
3 その他		0	130	0	130	
1	事業共通費	通年				
		0	130	0	130	
合計	7事業	1348人 46組	3,000	1,040	1,960	

2 貸館事業

目標	利用料金収入	2,243千円
----	--------	---------